

行財政改革は避けて通れない、住民の要望は要望として聞かなければならない狭間の中で、どのような選択をしていくか、町長として大変難しい選択である。

合併してよかったこと、まずかったことをこの機会に精査して、要望に応えられるような方向でこれから検討したい。

現在の職員数は、出先を含めると馬頭地区に231名、小川地区に60名いる。これからの業務の配分、施設の管理運営をどうすべきかを慎重に考えて検討したい。

| | 床面積 | 合併前 | 現在 |
|------|--------|-----|------|
| 馬頭庁舎 | 1,500㎡ | 86人 | 117人 |
| 小川庁舎 | 1,380㎡ | 70人 | 26人 |

職員数の比較



◆行政調査報告

議員会会長 大金 伊一

先般10月26日と27日に参加議員17名で行政調査を実施したので報告いたします。

調査事件は、福島県西会津町ケーブルテレビ事業と会津美里町地域間連絡バス及びひまわり会運営の調査でした。現在、那珂川町はケーブルテレビの高度化事業に取り組んでいるところですので、西会津町ケーブルテレビ事業について触れてみます。

西会津町は、会津盆地の西に位置し、山林が86%を占め、隣は新潟県に接した人口約8,700人の山村地域です。ケーブルテレビは、平成9年に放送がスタートし、現在の加入率が91・1%です。幹線が光ファイバー、支線が同軸ケーブルの完全双方向で、テレビ自主放送、再送信（地上波6、衛星波17、ラジオ3）、在宅健康管理システム、地域気象情報（5力所）、遠隔監視システム（5力所）、情報検索システム（5力所）、多機能電話システム、インターネット接続サービス等を提供しています。ケーブルテレビ導入の発端になったのは、西会津町は、

福島県の市町村の中で平均寿命が最も短い方でした。町を挙げて健康のまちづくりをキーワードに総合的な健康管理に取り組み、その一環として、双方向の回線を利用した在宅健康管理システムを導入し、端末機を要医療、要保健を必要とする町民の自宅に設置し、自宅に居ながらにして健康データ（問診、血圧、脈拍、心電図、体温、体重）が保健センターのホストコンピュータに自動的に送信され、保健師がデータを読み取り、変調があった場合はドクターに相談して対処しています。



疾病の予防・早期発見により、近年は平均寿命が大幅に改善され、短命の町の汚名を返上し、福島県の中で中位から上位にランクされるまでに

なっています。これはケーブルテレビ回線を利用した在宅健康管理システム活用の成果であります。将来は全戸に在宅健康管理システムを設置し、子供からお年寄りまで、全ての町民を対象に在宅で健康管理ができるよう計画中的のことです。

以上、紙面の関係上雑駁な報告になりましたが、那珂川町も脳卒中、心疾患等を初め成人病の多い町です。ケーブルテレビ高度化事業の中に、在宅健康管理、介護支援の行政サービスが将来の計画として入っていますので、できるだけ早く実施されることを望み、行政調査の報告といたします。

◆議会のつぎき

- 8月30日（水） 議会全員協議会
 - 9月5日（火） 議会運営委員会
 - 10月12日（木） 議会運営委員会
 - 10月16日（月） 平成18年第6回臨時会
 - 10月20日（金）
 - 11月2日（木）
- 議会広報特別委員会

編集後記

▽ 合併して一年が経過しました。今議会の一般質問では、「合併後の那珂川町が真に住民の立場に立った政策をしているか」

「町民の心の一体化を図るための努力がなされているか」「那珂川町の財政状況への対応策は」と言った合併後の行政のあり方を問う質問が多くされました。

▽ 今後議会は、地方分権の進展と合併という大きな変革に伴い、町民の皆様の期待に応えられるよう積極的に政策形成にかかわっていかねばなりません。

▽ また、議会と町と町民が三位一体となり、合併後の那珂川町のことを考え、知恵を出し合えるように、情報を最大限に出していく議会広報紙を目指していきます。

▽ そして皆様には、町の問題を集中的に議論する場である議会を是非傍聴していただけますようお願い致します。

議会広報特別委員会

副委員長 益子 明美